

災害時の応急給水訓練

(東大和給水所での応急給水方法の体験訓練)

南街・桜が丘地域防災協議会本部
平成29年11月22日

11月22日に第一光ヶ丘自治会主催で標題の「災害時応急給水訓練」を東大和給水所で、東京都水道局；原田様、東大和市防災安全課；澤田様／大野様にご指導戴き、南街・桜が丘地域防災協議会参加団体の第一光ヶ丘自治会、東京ユニオン管理組合及び多くの参加団体(約50名の参加者があり)の会員が訓練を受けました。災害時の水の確保は最重要事項で、水道局／東大和市職員の熱心なご指導に本紙にて改めて御礼申し上げます。

東京都水道局
原田様



第一光ヶ丘自治会
会長；飯田様



防災安全課
澤田様



大野様



開会式の状況(飯田様開花期の挨拶)



応急給水用自家発電装置の説明
水道局；原田様から施設説明

応急給水用自家発電室



応急給水機器操作説明／訓練

応急給水用自家発電装置を稼働後給水装置の稼働方法の手順説明及び水質検査方法の訓練を行った。

東京都水道局；上木原様の訓練内容説明

下記説明書が装置前の壁に貼付されています

応急給水の操作手順

準備

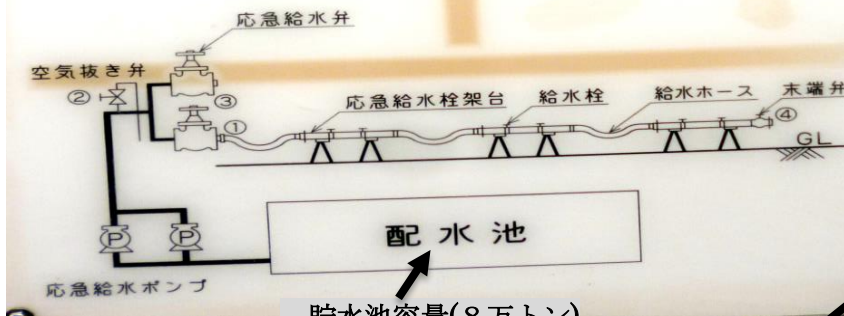
1. 応急給水装置（応急給水栓・架台・給水ホース）の設置。応急給水栓及び架台・給水ホースは応急給水用自家発電室に収納してあります。

運転操作

2. 給水ホースを給水口①に接続する。
3. 応急給水用自家発電室内の応急給水設備操作盤により給水ポンプを運転する。
4. 空気抜き弁②を開け水が出ることを確認し閉める。
5. 応急給水弁③を開ける。
6. 設置した応急給水栓末端弁④を開き排水後に閉める。
7. 応急給水栓架台の給水栓を開けて給水する。

停止操作

8. 応急給水弁③を閉める。
9. 応急給水設備操作盤により給水ポンプを停止させる。



貯水池容量(8万トン)

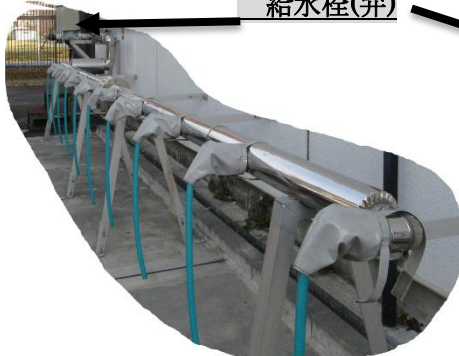
応急給水設備稼働手順説明



応急給水装置の操作説明 参加者の受講状況



給水栓(弁)





開栓後蛇口を開放して放水する
(錆等不純物を流し出す)



水質確認訓練 (塩素濃度で確認する)

放水の水を採取する



不純物の無い事を目視で確認する



塩素濃度確認の
為、水の採取



塩素濃度指示紙にて濃度を確認する



塩素濃度確認袋



簡易給水装置の組み立て訓練
袋より機材の取り出し



簡易給水装置の組み立て訓練



組立完了



給水栓への接続

給水栓の操作状況



給水栓の開放(錆等の異物除去)



簡易給水装置と給水栓をホースで接続



簡易給水装置に接続完了

蛇口を開放して給水開始





水質検査の為の採水

給水所開設の目印(旗)



含有塩素の測定

非常用給水袋の給水/重さ体験(6kg)状況



簡易給水装置の解体状況



回覧

災害時の応急給水訓練

(東大和給水所での応急給水方法の体験訓練)

是非参加して下さい!

地震などの災害時に飲料水・生活用水が足りなくなった場合にこれを確保する方法のひとつに、東京都水道局による応急給水があります。東大和市内には災害時に応急給水を行う施設(給水拠点)が2つあります。東大和給水所(桜が丘3-44)と上北台浄水所(上北台1-801-1)です。災害で被害が大きく給水車が動けない場合を想定して給水拠点(今回は東大和給水所)で飲料水を得ることを目的とした防災訓練です。飲料水は大事なものですので、これを得る方法を1つでも多く体験して知っておくことはいざという時に大変役立つと思います。多くの皆様の参加をお願い致します。

日時 : 平成29年11月22日(水) 午前10時～12時 ※ 雨天 決行

集合場所 : 9時50分までに直接「東大和給水所」に集合

訓練場所 : 東京都水道局東大和給水所(東大和市桜が丘3-44)

訓練内容予定 : (1)東京都水道局東大和給水所の場所の確認
(2)応急給水エリアの見学(応急給水設備の見学と説明)
(3)災害時の応急給水の対応と方法の説明
(4)応急給水装置の取り扱い説明、給水蛇口の組み立て、
給水口との接続方法等の実技
(5)塩素含有量の試験
(6)非常用給水袋への給水、重さ等の体験

訓練指導 : 東京都水道局、東大和市役所

その他 : 動きやすい服装・靴でご参加下さい

